

HOSEI

Communication Magazine

11.12

2022



自分の心に素直になって 納得感のある 就職活動を 後押しし

2022年度就職内定者座談会
2022年度の就職活動は、オンラインでの選考過程が標準となり、さらに早期化の傾向が強まりました。そうした状況の中で、希望の企業から内定を得ることができた3人の学生。彼らがどのようにキャリアセンターを活用し、志望先を定めたのか振り返ってもらいました。



▶多摩
吉岡 沙弥香さん
Yoshioka Sayaka

社会学部社会政策科学科
内定先：凸版印刷株式会社

▶市ヶ谷
関 愛梨さん
Sekki Airi

経営学部市場経営学科
内定先：株式会社ミリアル
リゾートホテルズ

▶小金井
長田 弦己さん
Osada Genki

理工学部経営システム工学科
内定先：株式会社 NTTデータ

▶キャリアセンター
林 達哉さん
Hayashi Tatsuya

キャリアセンター多摩事務課
主任

HOSEI EYE

法政の「いま」をお伝えします。



すでに日本語や日本に関する学修を開始しています



廣瀬総長からの歓迎のあいさつに耳を傾ける4人



ウクライナ避難学生
支援募金



10月13日(木)には廣瀬克哉総長、ダイアナ・コー副学長、グレゴリー・ケズナジャットESOP(交換留学生受入プログラム)ディレクターが出席して、歓迎会を行いました
※写真撮影時のみマスクを外しています



ウクライナからの留学生が 法政大学での学びを開始しました

法政大学では、2022年9月よりウクライナからの留学生4人を受け入れています。ビザ発給が遅れたことから、ウクライナ学生はあらかじめグローバル教育センターによるオンライン教育セッションや授業にオンラインで参加し、留学準備を整えてからの渡日となりました。9月下旬にビザ発給の手続きが完了し、9月25日(日)と10月2日(日)に2人ずつ渡日して、それぞれ法政大学での学修・学生生活を開始いたしました。ウクライナ学生たちは、日本語や日本の社会、文化、ビジネスに関する授業の履修に加え、学内外で本学学生と交流する予定です。本学では昨今のウクライナの危機的な状況に鑑み、人道的な支援として、軍事侵攻を逃れて日本へ入国し、学修の継続を希望するウクライナ学生を支援するために、本学での学修の機会を提供しています。ウクライナでの生活基盤が再建されるまでは、まだ長い期間を要することが予想されます。今後も「ウクライナ避難学生支援募金」などのご支援をいただきながら、ウクライナからの留学生の受け入れを継続することを検討していきます。

4人のウクライナ留学生
※写真撮影時のみマスクを外しています



HOSEI 11・12 Contents

communication magazine 2022

- 02 HOSEI EYE ウクライナからの留学生が法政大学での学びを開始しました
- 03 2022年度就職内定者座談会
「自分の心に素直になって納得感のある就職活動を後押し」
- 08 資格・採用試験への挑戦
- 12 卒業生インタビュー
「カルチャーとの接点を提供し 日々の生活を楽しく、豊かなものに」
オツモ株式会社代表取締役社長COO 松沼 礼さん
- 14 ESSAY
「リアルな映像を速く簡単に作るために」
情報科学部デジタルメディア学科 准教授 佐藤 周平
- 16 HOSEI PHRONESIS VOL.48
「国際的な平和と安全のために課される強制措置を探究」
法学部国際政治学科 教授 本多 美樹
- 18 MY CAMPUS, MY LIFE
人間環境学部人間環境学科 松本倫明教授ゼミ/軽音サークル「よせがに」
- 20 Message 「時代の被害者と『分かりづらさ』」
社会学部社会学科3年 本橋 侑英さん
(ウクライナ避難民支援日本人学生ボランティア派遣 参加)
- 21 THE SCENE VOL.140 レスリング部
- 22 後援会だより 「就職・キャリア支援の現状」 「首都圏父母懇談会」ほか
- 26 HOSEI ミュージアム VOL.030
「付属校に受け継がれた『法政大学予科』のシンボル ～能楽研究者・山崎楽堂～」
- 27 校友会だより
- 28 HOSEI TOPICS
- 30 2021年度自由を生き抜く実践知大賞 6
- 31 BOOKS

COVER 多摩キャンパス 撮影：平野太呂

多摩キャンパスのEGG DOME (エッグドーム)の2Fには、くつろげる共用スペースがあり、大きな窓からは、きれいな紅葉の景色を見ることができます。



自分のやりたいこと
成し遂げたいことが
キャリアの「軸」に

——数多くの企業がある中で、「ここに
就職したい」と考える決め手になったこ
とは何でしたか。

吉岡…自分の就職を考えるに当たって、
三つのことを軸に企業選びを進めまし
た。まず「自分の可能性を信じて、いろ
いろなことに挑戦できること」、次に
「チームで協力して仕事ができること」、
最後に「多くの人を笑顔にできること」
です。内定をいただいた凸版印刷は総合
印刷会社で、情報コミュニケーションや
エレクトロニクスなど、幅広い分野に事
業を展開しています。印刷技術から可能
性を広げた会社なので、自分と重なる部
分があると感じて、志望先を選びました。

長田…小金井キャンパスで学んできた
強みを生かしたいと、IT（情報技術）
業界に狙いを定めていました。企業研究
などで事業内容を調べてみたら、NTT
データは銀行の基幹システムや新型コロナ
ナワクチン接種の予約受付システムな
ど、自分たちの身近で社会に役立つシス
テムの開発を手掛けていることが分か
り、この企業で働いてみたいと思ったの
です。卒業生が何人も在籍しているとい
う環境も、安心感につながりました。

関…私は1年次からコーヒーチェーン店
でアルバイトを続けているのですが、そ

を作成したり、面接で答えることもやり
やすくなります。

一人で不安を抱えているより
誰かに頼ることで
状況が好転することも

——2022年度の就活状況は、どのよ
うな傾向がありましたか。

林…2022年度の*大卒求人倍率は全
体で1.58倍です。新型コロナウイルス
感染症の影響による景況感の悪化で一時的
に低下したものの回復傾向にあり、企
業の採用意欲の高まりも感じています。
それと同時に、就活の早期化傾向が強
まっています。内定辞退の回避策として、
早い段階から学生とコンタクトを取り、
企業へのロイヤルティ（愛着）を高め
たいという狙いがあるのでしょうか。こ
うした流れに対応すべく、キャリアセン
ターでは、企業選びから面接対策まで、
就活の動きに合わせてサポートできるよ
うなプログラムを豊富に用意していま
す。特に3年次を対象とした「インター
ンシップ準備講座」は学生からの注目が
高く、受講人数も増えています。

——早期化が進んでいるとのことですが、
皆さんはいつ頃から活動を始めまし
たか。

吉岡…就職支援サイトへの登録や説明会
への参加は2年次から少しずつ始めてい
ましたが、本格的に意識したのは3年次
の5月下旬から6月上旬。インターン

こでの経験から「お客さまからの笑顔に
触れ合いたい、感動の瞬間を創生する仕
事がしたい」と思うようになりました。
東京デイズニールゾート内のホテルを
経営するミリアルリゾートホテルズは、自
分の思いを実現するのに最適だと感じた
のです。説明会などで社員同士がお互い
に信頼し合っている雰囲気を感じたこ
とも、大きな理由の一つです。

——志望先を絞り込むまでには、どのく
らいの企業を検討しまし
たか。

吉岡…社会を知る意味で
もできるだけ多くの業界
を経験してみようと思っ
て、最初は業界を問わず
に手当たり次第に調べ始
めました。インターン
シップも100社以上受
けたと思います。

長田…私は早い段階で金
融業界かIT業界でシス
テムエンジニアになろう
と狙いを絞っていました
た。私が所属する経営システム工学科は、
理系と文系の両方の学びを得られます。
顧客と開発をつなぐシステムエンジニア
ならその強みを生かせますし、金融もIT
も社会に不可欠で、他のどの業界とも
関わっていかねばならないからです。結局、
IT業界に的を絞ったのですが、企業の
数が多いので、むしろ企業研究に時間を
掛けました。

関…私は自己分析を深めず志望先を選

シブの募集が始まる頃で、キャリアアセ
ンターが開催した就職支援講座はほとん
ど受けました。「就活生が知らない超優
良企業講座」は特に印象に残っています。
長田…その講座は私も受けました。優良
企業の中には企業向けにビジネスを行う
BtoB企業も多く、自分たちが知らない
だけで、世の中には想像以上に多くの
企業があることが分かり、企業選びの視
野が広がったことを覚えています。

関…私はお二人よりは少
し遅く、本格化したのは
3年次の12月頃です。そ
れまで自力で模索してい
たのですが、うまく行か
ないまま冬を迎えてし
まって、さがるような気
持ちで、キャリアセン
ターの個別相談を利用す
るようになりました。週
に1回ぐらいのペースで
オンラインでの相談予約
を入れていましたが、自
宅にいながら就職相談で
きるの、時間を有効に活用する意味で
もありがたかったですね。

——キャリアセンターはどのように活用
していましたか。

長田…私はESと面接対策ですね。社会
のことをよく知っていて、知識も経験も
あるキャリアセンターの方から客観的に
アドバイスをいただくのがいいと思っ
たからです。キャリアセンターは自分の志
望する企業の競合他社の情報なども多く



吉岡 沙弥香さん

毎日少しずつ
活動を続けることで、
不安を取り除いて
いきました



長田 弦己さん

できるだけ
多くの人から、
意見を聞いた方が
いいと思います

ぼうとしたせいか、最初は軸が定まらず
迷走していました。化粧品に興味があっ
たので、化粧品会社にアプローチしてみ
たのですが、全くうまく行かず時間はば
かり過ぎてしまいました。自分が何を
すればいいのか分からなくなり、キャリ
アセンターで個別相談を受けたところ、
「視野を広げて、いろいろな業界に目を
向けてみるといい。自分がやりがいを感
じることを考えてみたらどうか」とアド
バイスされたのです。改めて考えてみる
と、お客さまの笑顔をじかに見るのが
できる接客にやりがいを感じる自分が
いました。そこでホテル業界に大きく方
向転換したら、望み通りの志望先から内
定をいただけたのです。

林…キャリアセンターのアドバイスか
ら、いい結果に結び付いたならうれし
いですね。アドバイスを素直に聞いてく
れる人は吸収力が高く、次へと生かす力に
できます。そこで、かたくなになっ
てしまうと、身動きが取れずうまくい
かなることもあるのです。

関…「自分一人じゃ何もできない」と痛
感したので、頼れる方に全力で頼ろうと
思って、個別相談に毎週通い詰めまし
た。林…就職活動（以降、就活）で大切な
は、自分の思いに気付くことです。自分
のしたいこと、できること、強みや弱み
を知り、社会で活躍できる場所を模索す
る。それが自分のキャリアを考える「軸」
になり、志望動機になります。軸をしっ
かりと太くできれば、就職したい企業を
絞り込んだり、エントリーシート（ES）

持つているので、面接対策には有益でし
た。
関…相談を始めた頃は、自信がなくなっ
ていたので、お世話になりっぱなしでし
た。自己分析のための参考動画のURL
を教えていただくなど、イチから頼り
切っていました。

吉岡…実は私は人を頼ることに苦手意識
があって、就活中も一人で何でもやろ
うとしてばかりいました。周りを頼りたい
気持ちはあるのですが、忙しいかもしれ
ないし、お願いするのは気が引けるから
と遠慮していました。キャリアセンタ
ーの方は相談を聞いてくれるお仕事の
で、唯一、無償で頼りにしていい方だと
思っていました。そんな気持ちを話した
ら「人から頼られるのはうれしいものだ
から、周りの人にもっと頼っても大丈夫」
と背中を押してもらって。そこから思い
切って踏み出せるようになりました。就
活を通じて、自分が成長したことの一つ
だと思っています。

——ES作成では、どのようなアドバイ
スが有益でしたか。

長田…相談できる時間は限られているの
で、お互いがやりやすい方法を探りなが
らアドバイスを受けました。例えば、文
字数が限られている項目は、わざと多め
に書いて、不要な箇所を削っていく方法
で修正していました。

吉岡…後から自分で書き直せるように、
ES作成の考え方や効果的な書き方のポ
イントを説明してくれるので、すごく勉
強になりました。

林：キャリアセンターでは「添削」はしないようにしています。「こう書き直したらいい」とダイレクトに答えを示してしまうと、その場は良くて、学生自身の力にはなりません。最終的には、自力で判断して直せるようになってほしいので、次につながるためのアドバイスをするように心掛けています。

関：限られた文字数の中で訴えたいポイントを絞ってまとめるコツを教えてください。それまでは、言いたいことを全部詰め込もうとして、読みづらい文章になっていたので。アドバイスを受けて作成し直したESは、ほぼ全て通過することができました。

面接対策として、工夫したことはありますか。

吉岡：志望業界のことをよく知る方からお話を聞いて、面接で聞かれそうな質問を想定したりしました。また、個別相談では特定の人を指名しても、面接練習の時はいろいろな人に相手になっていただきました。私は多摩キャンパス在籍ですが、あえて市ヶ谷キャンパスのアドバイザーの方を指名したこともあります。長田：特に指定したことはないのですが、そういえば常に同じ方が担当してくれていました。キャリアセンター側で配慮してくれたのかもしれない。

林：「頼れない」と思いましたが、今はアルバイト先の後輩のES添削をしたりしています。「気にせず頼ってくださいよ」と言いながら。

林：「頼れない」と悩んでいたところから、「頼られる」側に今はなっていて、就活を経て、大きく成長することができましたね。ぜひ、キャリアセンターのイベントでも協力してください(笑)。

これから就活を始めようとしている後輩に向けて、アドバイスがあれば教えてください。

吉岡：自分の周りの後輩には「自分の将来に関わる大きなターニングポイントだから、視野を広く持って、きちんと自分に向き合った方がいい」と言っています。いろいろなものに触れていくうちに、自分のやりたいことが見えてきます。いままでしたことのないことを始める第一歩は大変だと思いますが、がんばって踏み出してみてください。

長田：最初、就活は受験と似たようなものだと思います。でも、受験は一人でできるけど、就活は一人ではかなえられません。同級生や先輩、家族、キャリアセンターの方々。いろいろな人と積極的に関わって、話を聞いてみるといいと思います。自分の就活のために関わってくれた人が多いほど、何かにつながっていくし、いい方向に行くと思います。



一人で悩まないで、とにかくキャリアセンターを全力で頼るようにしていました

関愛梨さん



関：私は面接に自信がなかったのですが、一人でシミュレーションをして、暗記してしまうほど練習していました。その結果、言葉に心がこもってないと感じられてしまうのではないかと不安になり、キャリアセンターの方にそうした気持ちも相談していました。実際の面接では、答えを用意していなかった質問もされたのですが、事前のシミュレーションが功を奏して、その場で考えを組み立てることができました。悩んだけれど、たくさん練習しておいて結果的に良かったと思っています。

気分転換のためのストレス解消法は人それぞれ

就活中はストレスがたまることも多いと思いますが、どのように気分転換をしていましたか。



関：就活がある程度進んでからは、できるだけ日常生活を送るようにしていました。面接のない日には、アルバイトもしていたほどです。もともと接客業が好きですし、アルバイト仲間とたわいなおしゃべりすることも、いい気分転換になっていました。

長田：軽音楽サークルに所属していて、仲間と音楽活動を楽しむことが、いいストレス発散になりました。小学生の頃からドラムを演奏して音楽を楽しむのが日常だったので、就活中にストレスを感じても、演奏すればスイッチを切り替えることができました。

吉岡：人と会って話し、息抜きをする時間も大切にしていたのですが、何もやらずにいると後ろめたい気持ちになってしまうので、一日一回は就活につながることをしよう決めていました。例えば、テーマパークに行くときも、行き帰りの電車の中ではESを書いたりしていました。

関：すごい精神力ですね。吉岡：「今日はこれをやったから大丈夫」と不安を打ち消すための安心材料にしていたのだと思います。志望先の凸版印刷から内定が出た瞬間に「もう何も

に対して、キャリアセンターはどのような支援をしていますか。

林：法政大学には約3万人の学生が在籍していますが、キャリアセンターでは、その全員を個別にフォローするつもりで動いています。留学生は、日本語が理解できるかどうかで事情が変わります。日本語で読み書きできる場合は、日本人学生と同じようにキャリアセンターを利用して就活に臨んでもらいます。ただ、英語学位プログラムを受講している留学生の中には日本語を話せない学生もいます。その場合は、個別に相談を受け付けて対応するようにしています。諸外国と日本とは就職に関するルールが大きく違うことが多々あり、難しい部分はあるのですが、不安を1個1個取り除けるように支援しています。

自分の心に素直に向き合って、キャリアの「軸」を見つけてください

林達哉さん



career center staff

関：同感です。就活の間は不安だらけで落ち込むこともあると思いますが、周りには親身になってくれる人がたくさんいるはずなので、自分一人で抱え込まずに思い切り頼ってほしいと思います。林：皆さんが言うように、周りをたくさん頼ってください。でも、最終的に決めるのは自分です。家族や友人は心配しているいろいろな言ってくれます。でも、その声に影響され過ぎるのもよくありません。分からなくなってきたときには、外野の声よりも自分の心に聞いてみてください。自分がやりたいことや適性を見極める意味でも、周囲のノイズが大きいときは、いったん遮断して、自分と素直に向き合ってみてほしいですね。

納得して就活を終えるまで学生一人一人に寄り添って支援

就活のピーク期は過ぎましたが、学生の状況は一人一人違います。ただ就職先を確定していない学生や留学生

4年生も現状で就職先を決めていない学生、内定は得ているけれど就活の継続を希望している学生がいるので、そのフォローを個別に進めています。たとえ内定を得ていても、本人が納得していない状態で就職を勧めるわけにはいきません。何よりも本人の納得感が大事だと思うので、最終的に本人が希望する進路に到達できるまで、キャリアセンターは学生一人一人に寄り添いながら、支援を続けていきます。

さまざまな資格・採用試験の中でも難関として知られる
司法試験、公認会計士試験、そして公務員採用試験。
ここでは本学のサポート体制の紹介と試験に合格した学生の合格体験記をお届けします。

資格・採用試験への挑戦

難関試験突破を
サポートする
本学の取り組み

本学では、学生の希望に応じた資格取得や採用試験突破を支援する多彩なプログラムを用意し、キャリア形成をサポートしています。中でも難関試験といわれる司法試験、公認会計士試験については、正規のカリキュラムとは別に資格取得支援のためのプログラムを開設しています。

司法試験

司法試験を受験するには、法科大学院を修了するか、予備試験に合格して受験資格を得なければなりません。本学の法科大学院（専門職大学院法務研究科法務専攻）では、優れた教授陣による少人数教育、先進的な実務教育、多様なカリキュラムと高度な設備により、現代社会の複雑な法律問題に対応できる法曹を養成しています。

3年次には「刑事訴訟実務の基礎」の授業の一環として、模擬裁判（交互尋問）を行っています。この模擬裁判では、事件記録教材を用いて、証人尋問や被告人質問

を中心に行い、交互尋問の方法を実践的に学ぶとともに、各人が法曹三者の役割を疑似体験することでそれまでに学習した刑事訴訟法が、実際の事件でどのようにして適用されるのかを実感してもらう狙いがあります。

法科大学院棟は独立した建物で、セキュリティカードによる入館管理を実施。全ての学生に専用の自習席を用意しています。また、館内のどこからでも大学院専用法律データベースにアクセスできるネットワークを完備し、学生にとって良好な学習環境を整えています。

なお、法学部法律学科では法曹コースを設置し、法科大学院と連携した一貫教育を行っており、条件を満たせば大学入学から最短5年で法科大学院を修了することができます。

また、学部から法科大学院への進学を念頭に置きつつ、司法試験に合格する学力の修得支援として、公務員採用試験対策として、公務員採用試験センター（次ページ参照）が「法職講座」を開設しています。法職講座から法科大学院へとつながる体制によって、より効果的な司法試験対策のための環境が整っています。

公認会計士試験

公認会計士試験対策については、高度会計人育成センター（次ページ

参照）による「会計専門職講座」（Hosei Accounting Profession Program…通称HAPP）が開設されています。簿記初学者でも無理なく学べるカリキュラムの下、卒業生を中心とした公認会計士資格を持つ講師陣がきめ細かく指導し、毎年現役合格者を輩出しています。

公務員採用試験

公務員採用試験対策については、公務員採用試験センターによる「公務員講座」が開設され、学年に応じたカリキュラムにより徹底した学習指導を行っている他、キャリアセンターでも公務員ガイダンスや省庁・自治体を招いての公務員業務説明会など、さまざまな支援行事を展開しています。こうした取り組みにより、毎年多数の公務員内定者を輩出し、「公務員に強い法



「卒業生による公務員の仕事相談会」の様子 (2019年に開催)

政大学」を印象付けています。新型コロナウイルス感染症の影響により、会計専門職講座は対面授業を中心に据えつつオンラインも併用して、公務員講座はウェブ講座にて実施しています。対面活動と並行しての個別相談や面接練習会、各種ガイダンスなどはウェブ会議ツール（オンライン）や動画コンテンツを積極的に活用し、平常時と同等の支援を継続しています。

今後も、対面、オンラインそれぞれのメリットを最大限に生かしながら、各種試験対策をより強化していく予定です。

「国家公務員の仕事を学ぶ」の様子 (2019年に開催)



●高度会計人育成センター（会計専門職講座）

高度会計人育成センターは、2014年4月、公認会計士や税理士などの高度会計人を目指す学生の支援を目的として設置されました。

本センターでは、全ての高度会計人に必要不可欠である簿記の資格取得を目指す「会計専門職講座」を開設しています。市ヶ谷、多摩の両キャンパスでコースを設置し、日商簿記検定試験3級から最終的には1級に合格する力がつくまで、卒業生の会計士を中心とした講師陣がきめ細かく指導します。

講座では、欠席した際のフォローとしてウェブサイトを通して自習できるシステムを設けている他、講師による個別面談や、「計算特訓」「公開模試大会」などのイベントも開催しています。

また、日商簿記検定試験1級の学習をしながら、本格的に公認会計士を目指す学生のために、大手専門学校に「公認会計士接続コース」を設置し、本センターのカリキュラムと連携した効率的かつ経済的な学びのコースを準備しています。

※講座の内容は、年度によって変更になることがあります。

●公務人材育成センター（公務員講座・法職講座）

公務人材育成センターは、2011年4月、「公務を担う人材＝公務人材」の育成を目的として設置されました。本センターでは公務員と法曹を公務人材の中核に位置付け、これらを目指す本学学生を支援するために、「公務員講座」「法職講座」を設置・運営しています。

講座はそれぞれ、公務員試験、法科大学院入学試験の対策を柱としていますが、試験対策にとどまらず、本学卒業・修了生で公務員や法曹として活躍されている方々の協力も得ながら、有為な公務員と法曹の育成を目指しています。

【公務員講座】 公務員入門講座（1年次）、公務員基礎講座（2年次）、国家・地方公務員上級職対策講座（3年次）、公務員技術職講座（3年次）を開講。学年に応じた学習カリキュラムと徹底した指導が特色です。

【法職講座】 司法試験合格を目指して、学部生の段階で学習しておくべきカリキュラムを提供し、基礎力を養成します。講義は、提携する外部専門学校の講師や、本学卒業・修了の弁護士が担当し、学生個別の学習・進路相談にも応じています。

※講座の内容は、年度によって変更になることがあります。

●資格取得、キャリアアップを応援する本学の奨学金制度

本学では、さまざまな特色ある奨学金制度を設け、学生の皆さんが意欲的に勉学に励み、充実した学生生活を過ごせるよう応援しています。

今回紹介する奨学金は、難関資格試験に合格した学部生（通信教育部生を除く）を対象とした奨学金の①法政大学「開かれた法政21」奨学・奨励金の指定試験合格者奨励金 ②L・U（リーディング・ユニバーシティ）奨学金のL・Uキャリア・アップ奨励金（いずれも返還義務のない給付型の奨学金）です。

二つの奨学金の詳細は、それぞれ次の通りです。

■法政大学「開かれた法政21」奨学・奨励金

指定試験合格者奨励金

奨学金額 40万円

対象 当該年度中の合格者全員（年間休学者を除く）

応募・採用条件 在学生のうち、司法試験予備試験、公認会計士試験、国家公務員採用総合職試験、税理士試験（全科目合格）、弁理士試験、司法書士試験に合格した者

申請方法 申請書、各試験の合格証書のコピー、本人名義の通帳のコピー、学生証のコピーを持参または郵送で次の担当に提出してください。詳しくはHoppiiのウェブ掲示板をご覧ください。

（司法試験予備試験） 学務部学部事務課法政学部担当

（公認会計士試験） 各キャンパスのキャリアセンター

（国家公務員採用総合職試験） 各キャンパスのキャリアセンター

（上記以外の試験） 各キャンパスの学生センター

申請期間 2023年1月13日（金）17:00 必着

給付時期 2023年3月末を予定しています。

ただし、弁理士試験（全科目）合格者は4月下旬を予定

その他 法政大学高度会計人育成センター公認会計士試験短答式試験合格者奨励金採用者は30万円の給付とします。

■「L・U奨学金」 L・Uキャリア・アップ奨励金

奨学金額 5万円

対象 当該年度中の合格者全員（年間休学者を除く）

応募・採用条件 在学生のうち、気象予報士試験、行政書士試験、高度情報処理技術者試験（プロジェクトマネージャ試験、システムアーキテクト試験、ITストラテジスト試験、データベーススペシャリスト試験、ネットワークスペシャリスト試験、システム監査技術者試験）、情報処理安全確保支援士試験、社会保険労務士試験、税理士試験（複数科目合格者に在学中1回のみ給付）、中小企業診断士試験、通訳案内士試験、不動産鑑定士試験に合格した者

申請方法 申請書、各試験の合格証書のコピー、本人名義の通帳のコピーを所属キャンパスの学生センターに持参または郵送で提出してください。詳しくは、Hoppiiのウェブ掲示板をご覧ください。

申請期間 2023年2月20日（月）17:00 必着

ただし、気象予報士試験で2023年3月に合格発表があった方は3月17日（金）17:00 必着

給付時期 2023年3月末を予定しています。

ただし、気象予報士試験で2023年3月に合格発表があった方は、4月下旬を予定
その他 複数の試験に合格した場合は、それぞれの試験について奨励金を給付します。ただし、「高度情報処理技術者試験」内で複数の試験に合格した場合でも、給付は在学中1回のみです。また、「高度情報処理技術者試験」と「情報処理安全確保支援士試験」の両方に合格した場合でも、在学中1回のみ給付とします。

2022年度に税理士試験（全科目）に合格し、「開かれた法政21」奨学・奨励金指定試験合格者奨励金を受給する方は、L・Uキャリア・アップ奨励金を併せて受給することはできません。

これから在学中に何か資格を取得したいと思われる方は、ぜひこれらの奨学金の給付を受けられるよう、上記試験合格に向けて積極的にチャレンジしてください。奨学金についての詳細は、下記の各キャンパス学生センター奨学金担当窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ	【市ヶ谷】 学生センター厚生課（外濠校舎1階）	TEL. 03-3264-9486
	【多摩】 学生センター多摩学生生活課（EGG DOME2階）	TEL. 042-783-2151
	【小金井】 学生センター小金井学生生活課（管理棟2階）	TEL. 042-387-6011

2022年度に司法試験、公務員試験に合格した方を代表して、4人の先輩から合格までの心構えや勉強法などの体験談を語ってもらいました。

合格体験記

司法試験合格者



大学院法務研究科（法科大学院）
未修者コース修了
濱田 碧

合格のために必要なもの
全てがあります

振 り返ってみると、自分一人の力では合格できなかったという思いがあります。共に勉強する友人、勉強を支援してくれるOB・OGの方々、優れた教授陣、勉強に集中できる環境、法律家になりたいという夢を後押ししてくれた奨学金、これら全てに支えられて、ようやく司法試験に合格することができました。そして、これら全てが、法政大学法科大学院にはありました。

司法試験において特に難しいのは、論文式試験です。読み手にとって分かりやすい文章が求められるので、共に勉強する友人の意見が極めて重要になります。率直な意見をぶつけ合うことで、自分の文章を客観的に把握することができ、改善点が見えてきます。

OB・OGの方々の支援も充実しています。論文の書き方講座などが設けられ、答案の基本的な書き方

しっかりと学ぶことができます。横のつながりだけでなく、縦のつながりもあることが、法政大学法科大学院の魅力であるといえます。

私は法政大学の法学部法律学科を卒業しましたが、法科大学院は未修者コースに入学しました。本格的な勉強を始めたのが比較的遅く、予備校なども利用していなかったため、基礎学力に不安を覚えていたからです。未修者として1年間多く勉強したことで、素晴らしい教授陣の下で基礎を習得できました。このことが結果的に、司法試験の早期合格につながったと思います。

勉強に集中できる環境も整っています。一人一人に自習席が与えられ、教科書なども学校で保管できるので、通学時の負担が軽減されます。

何より大きかったのは奨学金です。入学前には経済的な不安がありました。給付型の奨学金のおかげで、夢をあきらめずに挑戦することができました。この奨学金がなければ、スタートラインにすら立てなかったと思います。

法政大学法科大学院の手厚いサポートのおかげで今があります。ここ以上に勉強に打ち込める環境はないでしょう。

司法試験合格者



大学院法務研究科（法科大学院）
既修者コース修了
松本 遥

桃李三年柿八年
〜いつか 花が咲く〜

私 は法政大学法科大学院の前にも他の法科大学院を修了しており、合わせて7回目の挑戦での合格です。

私の父は地域の活性化を目指し、まちづくり活動を行う市民団体の代表をしています。私も幼い頃から多くの人々と共にまちづくり活動に参加してきました。その中で、いじめや貧困、ハンディキャップなど、法的問題や社会的問題に触れる機会が多く、そのような問題に向き合い解決を図れる職業に就きたいと思い、弁護士を志しました。

最初の大学院修了後は受験資格を喪失してしまいましたが、弁護士になる夢を諦めきれなかった私に、祖母は「桃李三年柿八年。頑張ればいつか絶対花が咲くよ」と励ましてくれました。当時、生死の間をさまよっていた祖母の言葉は、私の心に響きま

した。

もう一度大学院に進学し、司法試験に挑戦することを決意したものの、経済的な不安がありました。しかし法政大学法科大学院は学生への奨学金制度が手厚く、私は特待生として2年間の学費の給付、さらに毎月の給付金をいただけたので、経済的な不安を解消できました。2回目の法科大学院入学であることを誰も気にすることなく接してくれたため、引け目を感じることなく勉強に集中できました。

入学時の懇親会ではOBの方が「2回目に法政に来る人はほとんど受かっている。足りなかった何かをここで埋めていくのだと思う」とおっしゃっていましたが、その通りだったと思います。実務家の先生方が作成する試験問題は、基礎から応用までバランス良く取り入れられており、多くを学ぶことができました。

法政大学法科大学院に進学して、本当に良かったと思っています。

何かを成し遂げるまでには時間がかかることがあります。途中で諦めたくなることもあります。それでも諦めずに続けていけば、少しずつ自分分は育ちます。そして、いつかきっと大きな花が咲く。

公務員試験合格者



東京都庁内定
文学部地理学科4年
沖 悠介

公務員を
目指すということ

世 のため人のために働く——公務員である父の仕事の話をするとき口癖のように言っていた言葉です。そんな父の背中を見て育った私は、気付けば公務員を志すようになっていました。

大学進学とともに上京し、さまざまな面で東京の巨大さ、重要性を実感しました。故郷を出て都民として生活するうちに、東京という都市に魅了され、日本の首都を発展させる一員として仕事したいと思うようになりまし

た。試験の勉強を始めたのは、3年生の夏休み前です。公務員講座受講生専用の自習室に通い、そこで出会った仲間とともに互いに励まし合って勉強を続けました。何でも相談できる仲間の存在はとても頼りになりました。公務員試験は自分との戦いのように思われがちですが、全て一人で進めると必ずつまづきくることが

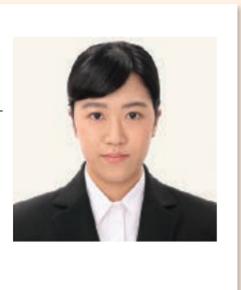
あります。困ったときに頼りにできる何かを見つけておくことも、公務員試験という長丁場の戦いでは必要なことです。

試験勉強で重要なことは戦略だと思います。法律科目と経済科目の比重が大きい公務員試験では、私のように法律も経済も専門外の受験生にとっては不利です。志望先と併願先を踏まえた適切な科目選択や、満点ではなく合格点を狙う柔軟な勉強をすることが必要です。そして、筆記試験だけにとらわれてはいけません。公務員試験では論文や面接も実施され、都庁の試験では専門記述試験があるため、早めの対策が必要です。

公務員講座では、論文や面接対策でも手厚いサポートを受けられます。都庁の専門記述試験対策講座で学習した内容は他の択一試験にも応用でき、とても役に立ちました。使えるものはなんでも利用するという貪欲な姿勢が合格への近道です。

来年度からは都庁職員として、都民の暮らしを守るために尽力します。公務員を目指している皆さんも、苦しいときは人を頼りにし、最後まで諦めずに頑張ってください。

公務員試験合格者



農林水産省内定
生命科学部応用植物科学科4年
坂田 晴香

国民の「食」を
支える仕事

食 を支える仕事に就きたい——。この漠然とした思いを胸に、就職活動をスタートしました。

最初はさまざまな企業の説明会に参加しましたが、農業に幅広く携われる点に魅力を感じ、農林水産省（以後、農水省）を目指することを決めました。

国家一般職試験は一次試験（教養専門）と二次試験（専門記述、面接）に分けられます。まず教養試験対策に3年次の6月から学内の公務員講座を受講し始めました。科目数が多いので、出題数が多い数的処理と文章理解を重点的に勉強していました。得点の比率が大きい専門試験は暗記科目なので、記憶が薄れないよう年明けから勉強を始めました。

一次試験対策をする上で重要なのは、戦略的かつ計画的に勉強を進めることです。模試を活用するなどして、勉強の方針を練ると良いと思

ます。

二次試験や官庁訪問対策としては、試験の1年ほど前から日本農業新聞を購読。関心のある記事は切り抜き、内容を要約して付箋に書くなどしてまとめていました。新聞を日々読むことにより、自分が農水省でやりたいことがより明確になりました。一次試験が終わった後は、面接対策としてキャリアセンターや予備校で模擬面接を受けました。

公務員試験は「情報戦」といわれています。特に技術系公務員は受験者数が少ないせいか、情報も少ないです。行きたい省庁のウェブサイトに定期的にチェックし、説明会には積極的に参加すると良いと思います。農水省は説明会だけでなく、座談会や講演会なども多く開催しています。仕事の内容について深く知ることができる上、官庁訪問の対策にもなるので、ぜひ参加してみてください。

来年度からは農水省の一職員として、国内農業の活性化に力を尽くしていきます。公務員試験は長丁場ですが、つらいと感じるときもあるかもしれませんが、最後まで諦めずに頑張ってください。



※撮影時のみマスクを外し、安全に配慮して撮影しています。

HOSEI
Graduate Interview
卒業生
インタビュー

このページでは、法政大学憲章の「自由を生き抜く実践知」を体現している本学の卒業生を紹介していきます。

カルチャーとの接点を提供し 日々の生活を楽しく、豊かなものに

オツモ株式会社代表取締役社長COO

松沼 礼さん

学生時代、アルバイト先の洋服店でアートをはじめとするカルチャーへの興味を深め、ユニクロではアート作品をモチーフにしたTシャツ「UT」を担当した松沼礼さん。経営者となった今、カルチャーから受けた恩恵を、カルチャーを通して次世代に渡していきたいと言います。



オツモの社員集会の様子
(左から2人目が松沼さん)

生活を豊かにする製品を
日本から世界へ発信

世界的なデザイナーのNIGO®氏がデザイナーを務めるライフスタイルブランド「HUMAN MADE」を運営するオツモの代表取締役社長を務めています。実店舗もありますが、オンラインストアでの販売が中心で、60カ国以上の方にご利用いただいています。経営者の主な仕事は意思決定で、企画から製作、マーケティング、PR、販売まで、自ら足を運んで関係者と話をし、決定しています。

オツモは「ストリートから、地球生活を面白く。」をビジョンに掲げています。独自の感性から生まれるストリートカルチャーと、日本のものづくり、異文化を融合させる能力をミックスすれば、面白い化学反応が起こる。そう

した製品を通じて、より楽しく豊かな生活を送ってもらいたいと考えています。そのために意思決定で重視しているのは「お客さまがワクワクするか」という顧客視点。ビジネスである以上、利益とのバランスも考えますが、成果は後から付いてくるような気がします。

海外旅行とアルバイトで 視野を広げた学生時代

法政大学第一中学校・高等学校（当時）は、のんびりした校風が私にとっても合っていました。人をワクワクさせたいという気持ちはこの頃から強く、生徒会長を務め、文化祭では毎年率先して企画を練っていました。

大学は法学部に進学しました。またインターネットがなく、海外の情報を今のように簡単には入手できない時代。世界を見たい、知りたいの一心で、アルバイトでお金を貯めては、長期休みにバックパッカーとして東南アジアやヨーロッパ、北米を回りました。



アーティストKAWS(カウズ)とコラボレーションしたUTは大きな話題となり、ユニクロのニューヨーク店では発売日に行列ができた(2016年6月)

ユニクロの17年間で 柳井社長に多くを学ぶ

それでも、2年もたつと将来への不安や焦りを感じるようになり、定職に就こうと考え、幸いにもユニクロに入社することができました。17年間、柳井正社長と一緒に仕事できたのは、何ものにも代えがたい経験です。

私を大きく成長させてくれたのが、著名なアーティストの作品をモチーフにしたTシャツ「UT」です。特に若い世代がアートの触れるきっかけをつくらうというプロジェクトで、自分の興味や経験と重なる部分が多く、夢中になって取り組みました。

ペイフォワードの精神で 好循環を生み出したい

バックパッカー時代、食事をおごってくれた人、手を差し伸べてくれた人によく「Pay it Forward」と言われました。恩をもらった人に返すのではなく、別の誰かに渡すという意味で、私も今や渡す側になりました。

カルチャーのある生活は心に余裕をもたらし、人生の奥行きを深める。そうしたユニクロ時代の体験をベースに、製品を通じて若い世代にカルチャーとの接点を提供し、その裾野を広げようとしています。20年後、彼らが渡す側になってくれれば何よりです。

皆さんもぜひ学生のうちに広い世界に出ていって、多くの人に話を聞き、さまざまな経験をしてください。足で稼ぐという時代ではないかもしれませんが、損得を考えずに行動できるのは若い人の特権だと思います。

そして、目標とするロールモデルを見つけることをお勧めします。著名人である必要はなく、身近な友人や先輩でもいいのです。仕事の進め方はこの人、人望を得る点ではあの人と複数のモデルを持つと、具体的に行動しやすくなるでしょう。

私の人生第3章の目標は、多くの人に「関わることでできてよかった」と思ってもらうことです。そのためにも、「地球生活」を送る一人として、心の若さを持ち続け、仕事も人生も楽しみたいと思います。

Matsunuma Rei

1978年パリ生まれ。法政大学第一中学校・高等学校を経て、1997年法学部法律学科入学。2001年に卒業後、2004年株式会社ユニクロにグラフィックデザイナーとして入社。UTコラボレーション事業推進部、グローバルマーケティング部の部長を務める。2021年7月オツモ株式会社取締役COO、2022年9月代表取締役社長COOに就任。





リアルな映像を 速く簡単に作るために

情報科学部デジタルメディア学科 准教授 佐藤 周平

コンピュータグラフィックスの研究

この数十年の間にコンピュータグラフィックス（以下CG）の技術は飛躍的に発達し、現実と見分けがつかないほどリアルな映像を至る所で見かけるようになりました。映画やゲームといったエンターテインメント分野の映像では、リアルなものやアニメ調のものも含めてその大半がCGを用いて制作されていますし、テレビやインターネット上の番組でもCGの技術は頻繁に活用されています。また映像作品以外でも、工業製品の設計や医療、訓練用のシミュレータなど幅広い対象への利用が進んでいます。

このようにさまざまな場面で利用されているCGですが、実は簡単に作れるものはありません。私たちが普段目にしてしているCGは、高度な数学や物理の理論

に基づいてコンピュータにより計算されます。また自然現象を再現するために、物理法則に基づいたシミュレーションを用いて映像を作成する場合もあります。このように、実際の物理現象をコンピュータ上で再現しリアルティを追求することが、CG研究の至上命題です。加えて、なるべく高速に計算することもCG研究のもう一つの大きな目的です。リアルティを追求するほど、物理方程式をより高精度に解く必要があり、その結果計算に多くの時間を要します。そのためCG研究では、視覚的なリアルティを保ちつつ、可能な限り計算を高速化する方法を追求します。

物理シミュレーションの利用

自然現象の映像を作成するには、物理法則を再現するシミュレーションが頻繁

に利用されます。私がこれまで主に研究の対象としてきた流体（水、煙、炎や雲などの総称）も、物理シミュレーションを用いて映像を制作する自然現象の一つです。

流体の物理シミュレーションでは、流体の運動を記述するナビエ・ストークス方程式（以下NS方程式）を解くことで、その動きや見た目をリアルに表現できます。このNS方程式は、ミレニアム懸賞問題の一つで、まだ解かれていません。そのため、近似的な方法でこの方程式を解いていきます。しかし、この方程式を解くにはとても多くの計算時間を必要とします。また、NS方程式には比例関係にない非線形な項が存在するため、シミュレーション結果を予想するのが困難です。そのため、ユーザの望む映像を作るには、シミュレーションを何度も繰り返し、結

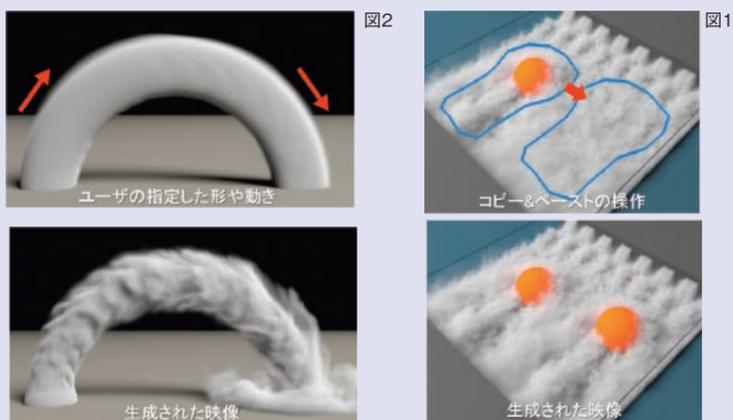
果に関係する数値を調整していく必要があります。

これはとても煩雑な作業であり、この問題を解決するために20年以上にわたって数多くの研究が行われてきました。例えば、ユーザの与えた特定の形状によって流体を制御する方法などがあります。このアプローチでは、シミュレーションの繰り返しを極力減らし、映像制作を効率化できます。さらに最近ではリアルティと高速化に加え、より簡単な操作で流体の映像を作る方法にも注目が集まっています。

簡単な操作の実現

次に私が発表した、より速くより簡単にリアルな流体の映像を作るための研究を二つ紹介します。

一つ目は、テキストや画像などに対して一般的に行われるコピー&ペーストの操作を流体シミュレーションに取り入れるための研究です。スマートフォンやタブレット端末が普及した昨今では、URLやウェブ上の文章をコピーして違う場所に貼り付けるという操作を、多くの人が経験していると思います。また、画像の一部を切り取って別の場所に貼り付けるのも、日頃頻繁に行われる操作です。私の研究では、この操作を取り入れて流体シミュレーションの結果を編集できるようにしました。その結果が図1下の画像になります。



この例では、左上のオレンジ色の球状の障害物のある領域（青色の線で囲った部分）をコピーし、それを右下に貼り付けます。そうすると、ただ煙が流れている所に障害物がある場合の流れを合成できます。実際には、単にコピーして貼り付けただけでは青色の線の付近で流れが不連続になってしまうため、その部分を滑らかにする方法を提案した研究になります。この研究により、これまでになく簡単な方法で流体のCGを編集し、望む流れを高速に生成できます。

二つ目は、ユーザが指定した流れに従うようにシミュレーションを制御する研究です。これはまず図2の上の画像のように、作りたい流体の形や動きを入力用として用意します。これは流体シミュレーションで作る必要はなく、直接流体の速度を設定するなどして簡単に作成できます。実際、図2の上の画像はシミュレーションで作ったものではないため、全く流体のように見えないものとなっています。そして、この入力用に従うようにシミュレーションを制御し生成された結果が図2の下の画像となります。全体的な形や動きはそのままに、流体らしい動きが追加されています。このように大まかな形や動きを与えると、それに従った流体らしい動きを生成できる方法となっており、望む流体の映像を簡単に作成できます。

より簡単に高速なCG映像の生成を目指して

ここで紹介した二つの研究は、私がかれまで行ってきた研究の一部であり、他にも同様の目的で行った研究がいくつかあります。しかしながら、冒頭に挙げた問題があらゆる場面において解決されたわけではなく、継続して世界的に研究が行われています。私もリアルなCG映像をより簡単により高速に作り出せる方法を目指して、これからも研究に邁進していきます。



※米国クレイ数学研究所が2000年に発表した7つの問題で、1問の懸賞金は100万ドル



Sato Syuhei

1986年生まれ。2009年、北海道大学工学部卒業。2014年、北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。博士（情報科学）。2014年から2019年まで、株式会社ユビキタスエンターテインメント、株式会社ドワンゴ、プロメテック・ソフトウェア株式会社にて研究員。2019年、富山大学学術研究部工学系助教。2022年から現職。専門はコンピュータグラフィックス、特に流体の流れの生成や編集に関する研究に従事。本文で紹介した研究の論文は、「Editing Fluid Animation using Flow Interpolation」(ACM SIGGRAPH 2019)、「Stream-Guided Smoke Simulations」(ACM SIGGRAPH 2021)。

国際的な平和と安全のために 課される強制措置を探究

英字新聞の記者という前身から、国際情勢に深い造詣を持つ本多美樹教授。
国際社会の平和を維持する機構として国際連合の存在に着目し、経済制裁などの強制措置の研究を深めています。

法学部国際政治学科 教授 本多 美樹



多くのジレンマを抱える、
平和のための強制措置を探究

専門分野は国際関係学で、「国際社会の平和のための強制措置」をテーマに研究を進めています。長年注目しているのは、国際連合（国連）の動き、中でも安全保障理事会（安保理）の経済制裁です。

国連の安保理は、国際社会の平和と安全の維持に責任を有し、5カ国の常任理事国（米国、英国、フランス、ロシア、中国）と地域ごとに選出される10カ国の非常任理事国が話し合っており、紛争国にどのような介入を行うかなどを決めています。手続き的な事項以外の決議には常任理事国5カ国全ての賛成が必要で、いずれかの国が反対した場合も成立しません。結果的に、安保理による強制措置は実施できなくなりました。顕著な例が2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻です。ロシアへの拒否権行使によって、ロシアへの非難決議すら採択できませんでした。

そこで主要国および各国の企業はそれぞれの判断により、内戦や侵略を食い止めようと経済制裁などを働き掛けるのですが、その余波により、巻き込まれた市民の平和な生活が脅かされるというジレンマを起しています。

世界の平和は、自国の国益を守ろうと戦略的に駆け引きをする国家関係の上に成り立っています。その前提を踏まえて、外部からの強制的な措置は、平和の回復や維持にどれほど寄与できるのか。この問いの答えを求めると、現在の関心事です。複雑に絡んだ国際社会の中では、容易に答えが見つかることはないでしょう。少しでも良い結果につながる策はないのか、探究し続けたいと考えています。

経済制裁の効果を示す データの可視化に挑みたい

研究者になる前は、英字新聞のジャパンタイムズで記者をしていました。転職のきっかけは、1990年のイラクによるクウェート侵攻に端を発した湾岸戦争です。日本にも平和活動への協力が求められるなど、世界各国に大きな影響を及ぼし、国際的な平和と安全の維持に、国連が果たす役割の重要性が改めて浮き彫りになった出来事でした。歴史に残る一大事を目の当たりにして、安全保障や国際社会の秩序はどうあるべきかを考えさせられ、国際関係学を学びたくなり大学院に進みました。修了後は記者に戻るつもりでしたが、学びへの好奇心が止められず、研究者への道を歩むことにしたのです。国際社会の安全保障を考えるとき、



2022年度のゼミは「グローバル・イシューの脅威——現代のマルチテラリズムを問う」というテーマの下、グループ研究に取り組んでいる



東アジアの研究者と北東アジアの安全保障と国連の対応について議論を交わした際の一枚（2009年開催のシンポジウムにて）



国際平和を話し合いながらも各国が国益をしのぎ合う、極めて政治的な場である国連安全保障理事会の決議の風景（©UN Photo/Loey Felipe）

判断が悩ましいのが「経済制裁による効果」です。争いの士気をそぎ、鎮静化させることが目的なので、厳しい締め付けで追い詰めて反発心を刺激するのは望ましくありません。逆に、影響の乏しい介入では制裁になりません。経済制裁の効果は正確に判断するためには、どのような措置がどのような効果を生んだのかを数量化してデータを可視化して示すことが重要です。それだけに、今後はデータサイエンス領域の知識と学際的な視野を取り入れて、研究をアップグレードしていく必要性を感じています。

幸い、総合大学である法政には、他分野の研究者からの協力を得る機会と自由な研究を後押ししてくれる環境があります。そのリソースを生かしてネットワークや研究領域を広げながら、研究力を強化、発展させていきたいと考えています。

国際社会で起きていることへの 感度を身に付けてほしい

学生には、さまざまな実体験を積んでほしいと願っています。同じ風景でも、スマートフォンで画面越しに眺めて楽しむ場合と現地に行き肌で感じる場合では、心に残る印象が大きく異なるからです。コロナ禍の影響で、数年間にわたって渡航が制限されたこと

はとても残念に感じています。ただ、ウィズコロナの時代に入ってもできることはあるはずで、まずは興味のアテナを広げて、さまざまなことに目を向けてください。感染症対策のための行動制限はまだありますが、できれば外へ出て、新しい経験をしてみることがお勧めです。その一つ一つの経験が、人間力を高める「実践知」の種になるからです。

国際社会は政治力のある大人がつくっているわけではありません。一人一人が国際社会の責任ある担い手（ステークホルダー）なのです。世界で起きていることは他人事ではなく、自分に関連する問題だと捉えられる感度を身に付けてほしいと願っています。

問題の存在に気付いたら、解決するために何をすべきか考えたり、少しでも変化を起こすための知恵や知性を得たくなるでしょう。その向上心が未来を育むことを信じて、学生一人一人に寄り添い、後押しを続けていきたいと思っています。

Honda Miki

成蹊大学卒業後、記者として英字新聞ジャパンタイムズに勤務。その後、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻国際関係学修士課程修了、同大学院にて博士後期課程修了。博士（学術）。早稲田大学社会科学総合学術院准教授を経て、2017年4月より本学法学部国際政治学科教授に兼任、現在に至る。日本国際連合学会理事、日本国際政治学会では2022年度研究大会実行委員長を務めた。

多摩キャンパスで活動する「よせがに」は約180人のメンバーが在籍する大型サークル。日本のロックを中心に、さまざまなジャンルの人気アーティストの楽曲をカバー演奏しながら、音楽を楽しんでいます。コロナ禍の影響で2020年度はほとんど活動できずでしたが、2021年の6月頃に活動を再開。教室やEGG DOMEのホールを利用して、月1回のペースで精力的にライブを開催しています。人数が多いだけに、毎月の定例ライブには50〜60組のバンドが登場。4日間にわたって熱気が続きます。

「カバー演奏したいアーティストごとにメンバーを募り、流動的にバンドを編成しています。その結果、1回のライブで複数のバンドを兼任することもよくあります」と語るのはギター担当の栗原さん。「人気の高いアーティストなら、同じ曲を同じライブ内で別々のバンドが演奏することもあります。やりたい音楽をやりたい人が集まって演奏するという感じで自由に楽しめるのが、よせがにの魅力です」と、笑顔を見せます。

演奏だけでなく、裏方作業も手分けして担当。ライブをスムーズに運営できるように、音響装置を担当するPA班、照明を担当する照明班、ライブ会場を飾り付ける装飾班、ライブ

軽音サークル「よせがに」

精力的なライブで多彩なジャンルの音楽活動を楽しむ



クラブ・サークル

※今回はオンラインで取材しています

上段左から森雅明さん（社会学部メディア社会学科3年／代表）、栗原大和さん（社会学部社会学科3年）、下段、阿部晃大さん（現代福祉学部臨床心理学科3年）



EGG DOME地下にある部室で練習を重ねた成果を、月ごとのライブで披露している。毎月のライブは主に教室で開催



学友会の交流イベント「多摩夏祭り」に参加した時の一枚。よせがにからも数組のバンドがサークルを代表して野外ステージで腕前を披露した



サークル内は大家族のような和気あいあいな雰囲気。写真は2022年2月に開催した卒業ライブでの一枚（※撮影時のみマスクを外しています）

風景を動画に残す記録班、広報活動を担当する情報宣伝班に分かれ、ライブ成功に向けてそれぞれが協力し合っています。

年間のライブ活動の中で、特に力を入れていたイベントが大学祭で、多摩祭と市ヶ谷祭に参加しています。「大学祭では、音響や照明をプロが担当する本格的なステージで演奏できる企画があります。2年次にサークル代表として参加して、貴重なステージ体験ができました」と語るの代表の森さん。ベースを中心に、ドラムやギターも担当するなど、楽器演奏の多才ぶりを発揮しています。「人数が大きく増えたので、部内の交流を深めながら、コロナ禍でも楽しく音楽活動ができるように、工夫していきたいですね」と大人数を率いる責任感をにじませます。

「高校時代の部活と違い、自分たちでどうしたいかを考えながら、主体的に活動していけるので楽しいし、やりがいがあります」と語るのドラム担当の阿部さん。「以前先輩の一人が卒業前のライブで自作曲を演奏したのですが、その姿がすごく格好良く印象的でした。自分も卒業前に、学生時代の集大成として、オリジナル曲を作ってライブで披露してみたいですね」と、自分の新しい可能性に挑みます。

※PA：Public Addressの略で音響機器のこと。

地球温暖化を主軸のテーマとして、幅広い環境問題に取り組んでいる松本倫明教授ゼミ。

授業内で常に展開しているのは「環境速報」。環境に関する時事ニュースをピックアップして紹介した後、グループに分かれて議論しています。「議論のまとめ役になるディスカッションリーダーは先生がその場で指名するので気が抜けません」と語るの、自然環境問題に興味があるという齊藤さん。「ゼミ内では人前で発表する機会が多いので、もっと聴き手に伝わるような工夫をして、プレゼンテーション力を磨きたい」と自分のスキルアップを目指します。

「何が問題なのかを認識する、問題発見力を大事に磨いてほしい」と語り、学生を見守る松本教授。コロナ禍で合宿の開催は見送りましたが、他大学との合同ゼミを開催して意見交換するなど、ゼミ内に新たな刺激を取り入れています。

学生たちが取り組んでいる個人研究のテーマも多岐にわたります。「自動車の排出ガスが地球温暖化に与える影響に興味をもち、ゼロエミッション車の普及やすみ分けに関して調べています」と語るの山田さん。「公務員を目指しているので、ゼミで学んだ環境問題に関する知識を将来の自分の糧にしたい」と未来

人間環境学部人間環境学科 松本倫明教授ゼミ

地球温暖化を軸に多種多様な環境問題に取り組む



ゼミナール・研究室

※今回はオンラインで取材しています

上段左から松本倫明教授、重富孝介さん（4年）、福田美月さん（3年／ゼミ長）
下段左から山田泰輝さん（3年）、加藤隆正さん（2年）、齊藤ろみさん（2年） ※全員、人間環境学部人間環境学科



学期を通じて統一テーマを決め、文献を読み込んで発表するグループワークを実施。2022年度春学期はカーボンニュートラルに関して調べた



課外活動として東京ビッグサイト（東京国際展示場）で開催された「2022NEW環境展」に参加。環境や地球温暖化防止のための取り組みについて取材した



市ヶ谷キャンパス（富士見校地）内の放射線量を区画を分けて徹底調査。調査結果は報告書にまとめ、大学ウェブサイトでも公開している

多様な生物が生息している里山が、荒廃しつつある現実に興味を持ち、継続して個人研究に取り組んでいるのは重富さん。「里山の真価は、人と自然との関わりです。これまでは里山の農業活性化に向けた工夫など、技術的な面を中心に調べてきましたが、もっと人に焦点を当てて、里山での暮らしぶりを織り交ぜてまとめる予定で」と研究の集大成に向けて、卒論の作成を進めています。

エネルギー政策に興味を持っているのは、夏季休暇中に青森の六ヶ所村を中心に地熱発電所や原子力燃料再処理施設を自主的に見学した加藤さん。「バイクで福島県の柳津西山地熱発電所、宮城県の女川原子力発電所、青森県の六ヶ所村のエネルギー関連施設などを巡りました。環境問題は多面的な問題なので、まずは知識を深めていきたい」と学びへの前向きな姿勢をうかがわせます。

ゼミ長を務める福田さんは「環境にいいとされていることが本当にそうなのか考えてみる。エコやSDGsもすぐに同調するのではなく、疑問の目で問題を見いだす姿勢が松本ゼミの魅力です。これからは個々の視点を大切にしながら、活発な議論を展開したいです」と語り、ゼミのさらなる活性化を図ります。

※ゼロエミッション車：電気自動車をはじめとした、走行時にCO2などの排出ガスを出さない自動車のこと。ZEVとも略される



THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介しします。



レスリング部

撮影場所：市ヶ谷総合体育館
撮影：田中伸弥

レスリング部は、1952年に創部され今年で70周年を迎えました。部員数は男女合わせて24人で、市ヶ谷総合体育館で練習を行っています。男子は東日本学生リーグ戦の一部リーグに所属しており、女子には2022年U20アジア選手権で優勝した選手や、U20世界選手権で3位の結果を残した選手もいます。一人一人が高い目標に向かって練習に取り組んでおり、休日は合同練習や出稽古などレベルの高い練習に励んでいます。全日本学生レスリング選手権大会、天皇杯全日本選手権や各種世界大会などで、より多くの選手が活躍することが目標です。今後もレスリング部の応援をよろしくお願いいたします。

Message

「自由を生き抜く実践知」を
体現している
学生の声を届けます。

時代の被害者と「分かりづらさ」

ウクライナ避難民支援日本人学生ボランティア派遣 参加
(実施団体：日本財団ボランティアセンター)
社会学部社会学科3年

Motohashi Yukihide

本橋 侑英さん



ポーランドのプシェミシル避難所前にて

戦争の歴史や創作に触れる中で、戦争は時代や時流によって起きていくと考えるようになりました。ロシアによるウクライナ侵攻では、アフガニスタンやシリアと同じように、戦線近くで暮らす人々や偶然その時従軍していたロシア兵などが時代の被害者になっていると思います。悲しい気持ちになりました。その中で日本財団がボランティアを募っていると聞き、少しでも役に立ちたいと思って応募しました。

ウクライナとの国境に近い、ポーランドのプシェミシルにある避難所で、掃除やゴミ出し、物資の整理・配給などの手伝いをしました。

避難所では、民間人の戦争災害を目の当たりにしました。いつ祖国に戻るのかも分からない中、ストレスの溜まる集団生活。「普通」の人



たちの日常と未来が、どれほど破壊されたかを知りました。

活動の中で、特に印象に残っているのは、子どもたちのことです。いろいろなウクライナ語を教えてくださいました。接する中で「私はこの子たちに何もできない」という無力感も覚えました。

今回のボランティアは、なぜ学生を対象にしているのか、ずっと考えていました。今では、現地で感じたあの無力感をばねに、将来より多くの問題に取り組むことを期待されているのだと思うようになりました。

現地ではさまざまなことを感じま

したが、特筆したいのは困っている人の「分かりづらさ」です。避難所にいた人々は誰もが大きな苦悩を抱えているはずですが、一見ただけでは分かりません。「戦争の避難所」として想起されるのは悲劇的な場かもしれませんが、現場は淡々としています。しかし、そこに悲しみがないわけではありません。深い悲しみも苦勞も、見れば分かるような単純なものではないのです。

「分かりづらさ」苦しみも気付き、分かりづらさの価値や意味を発見できる者として、今回の経験を社会に還元していきたいと思っています。



後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

ウィズコロナが浸透する中、採用・就職活動において企業も学生の皆さんも、新しい変化にしっかり対応している状況です。今後の採用活動は、基本的によりモットを中心として対面を加える形で定着しそうです。キャリアセンターでも、さまざまなサービスの特色を生かしながら、オンラインや動画、対面を取り混ぜて対応しております。

就職でいちばん大事なのは、絶対に就職するという強い意思です。周りに気にし過ぎて、早期に就職を諦めることがないように、本人やご家族が、他人と比較しないことも大切です。チャンスはまだあります。まだキャリアセンターを利用していないお子さまには、利用を促していただければと思います。

大学生活で一生懸命に取り組めるものを見つけてもらうことが重要です。そのためにここ数年、1年生のキャリア教育や低学年支援イベントの充実を図ってまいりました。公務員講座や難関資格講座も充実させ、成果が上がっています。ぜひ、お子さまにキャリアセンターを利用していただき、実りある学生生活を送っていただければ幸いです。

キャリアセンターから会員の皆さまへ

就職・キャリア支援の現状



就職活動継続中の4年生には、全員にアンケートや電話調査を実施しております。未内定者の把握後、希望者一人ひとりに就職支援を実施し、内定獲得を目指してまいります。キャリアセンターの相談は不要という場合も、時間を置いて再度連絡を取り、個別相談に導いております。

就職に必要な適性試験の対策講座にも力を入れております。また、3年生から個別相談を利用している学生を分析したところ、10回前後の利用者に、希望する就職先の内定を得た人が多いという結果が出ています。低学年のキャリア支援では、過度に就職活動を意識するのではなく、



キャリアセンターウェブサイト
キャリア支援に関する情報や、保護者の皆さまから多くいただく質問と回答などを掲載しています

首都圏父母懇談会

3キャンパスでハイブリッド形式の首都圏父母懇談会を開催しました(p23~25にレポートを掲載)。

- 市ヶ谷キャンパス 2022年10月 2日(日)
- 多摩キャンパス 2022年10月15日(土)
- 小金井キャンパス 2022年10月 9日(日)



首都圏支部からのレポート

首都圏父母懇談会 市ヶ谷キャンパス



首都圏父母懇談会実行委員長 市ヶ谷キャンパス
浅見 佐亨 (那南/文学部)

澄み渡る秋空の下、2022年度市ヶ谷キャンパスの首都圏父母懇談会を10月2日(日)にハイブリッド形式で開催しました。2020年度は中止、2021年度はオンライン開催で、人数制限はあるものの、キャンパスでの開催は3年ぶりでした。キャンパス来場者460人、オンライン参加者301人、後援会役員も合わせると約800人が総長講演、学部別懇談会、キャリアセンター講話に耳を傾けました。学生ボランティアによるキャンパスツアーには270人が参加し、大学の歴史と精神を継承する校舎や広場などを案内してもらいました。ツアー中の学生の巧みな話術を耳にして、「楽しそうですね。まだ申し込めますか」と飛び入り参加も出るほど好評でした。学部や校舎の居心地、アルバイト、就職活動などについて、学生からじかに話が聞けたのも魅力だったようです。



受付の様子



キャンパスツアーの学生ボランティアと

久しぶりの対面開催で、当初は後援会役員同士のコミュニケーションにぎこちない部分もありましたが、同じ目標に向かって力を合わせるうちに、学年を越えた一体感が生まれましたように感じています。来年度は入場制限をなくし、学生サークルの企画や食堂での試食会も復活させたいと思います。役員や関係者の知恵を出し合えば、できることは無限にあると実感しました。ご参加いただいた保護者の皆さま、総長、学部長をはじめご指導ご協力いただいた大学関係者の皆さま、後援会の事務局、役員関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

首都圏支部からのレポート

★首都圏父母懇談会 小金井キャンパス



首都圏父母懇談会実行委員長 小金井キャンパス
石原 康弘 (弘裕 / 理工学部)



10月9日(日)、小金井キャンパスで首都圏父母懇談会を開催しました。今回は、午前の部に理工学部、午後の部に情報科学部と生命科学部の2部構成で、対面・オンラインのハイブリッド方式としました。オンラインについては、全国の会員の皆さまにもご視聴いただけるように計画し、約200人に対面形式で、約240人にオンライン形式でご参加いただきました。

講演会では、まず金井敦副学長よりごあいさついただいた後、キャリアセンター小金井事務課の佐藤拓哉主任から「理系学部生の進学・就職と法政大学キャリアセンターの取り組み」についてお話いただきました。その後、学部・学科(専修)別に行われた説明会では、担当教授などから学科の紹介、履修状況、成績評価、大学院への進学や就職状況、最新の研究などについて貴重なお話をいただき、また質疑に対して丁寧に対応していただきました。

説明会終了後には、学内の実験室や研究室など、普段はなかなか立ち入ることのできない、学びの場所を

父母懇談会の実行委員



ご案内いただきました。保護者の皆さまが、熱心に傾聴し、興味深く見学される様子が印象的でした。

後援会の実行委員と後援会事務局担当職員が、感染対策に最大限配慮しつつ、できるだけ多くの保護者の皆さまにご参加いただけるよう、開催方法について6月から検討を重ねてまいりました。来年度以降、さらに工夫をしていきたいと思っております。

最後になりましたが、ご来場およびオンラインでご参加いただきました保護者の皆さま、ご指導ご協力いただきました大学関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。



講演の一部はオンラインで視聴可能に(写真は金井敦副学長)

法政大学後援会事務局

〒102-0073
東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F
TEL: 03-3264-9350
FAX: 03-3264-9367
E-mail: koenkai@hosei.ac.jp



後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>



首都圏支部からのレポート

★首都圏父母懇談会 多摩キャンパス



法政大学後援会 副会長
松崎 浩司 (涼司 / スポーツ健康学部)



10月15日(土)に多摩キャンパスにて首都圏父母懇談会を開催しました。今回は、2021年度と同様に、事前申し込みによる対面参加とオンライン参加によるハイブリッド形式となりました。また、これまでは首都圏在住の保護者のみを対象としていましたが、今年度からは全国の保護者にもオンラインを通じてご参加いただけるようになりました。

学部別懇談会では、各学部の担当教員から学部教育や在学生の学生生活の様子、就職活動に関する講話がありました。キャリアセンター職員による就職活動に関する説明では、就職活動の現状や就職活動へのアドバイスに関するお話が聞きました。どちらも熱心にメモを取る保護者の姿が印象的でした。

また、学生スタッフのアテンドによる、キャンパスのウォークツアーも実施しました。校内循環バスの中では、同乗した学生スタッフによるガイドがあり、図書館や総合体育館では、職員の方から施設の説明がありました。さらに、当日は大学祭(多摩祭)が開催されており、学生たち

の元気な姿を目にすることもできました。

「父母懇談会」は、後援会活動の大きな目的の一つである、保護者が教育環境や学校生活を知ることのできる貴重な機会です。今回も多くの方々にご協力をいただき、無事に終えることができました。

来場された保護者の皆さま、さらにはオンラインで参加された皆さま、そしてご指導ご協力いただきました後援会事務局の皆さまをはじめ、大学関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



受付の感染対策



ウォークツアーの様子





HOSEIミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

付属校に受け継がれた 「法政大学予科」のシンボル 能楽研究者・山崎楽堂

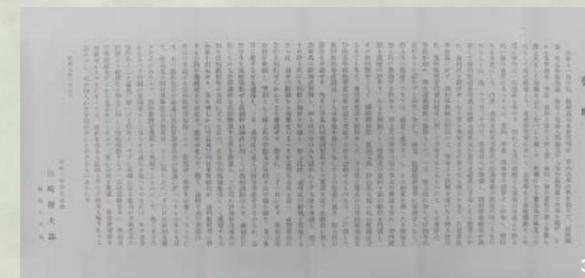
法政大学高等学校および法政大学第二中学校・高等学校の校章は、もともと戦前の予科(現在の大学の教養課程)のバッジにあしらわれていたものです。これをデザインしたのは、予科で数学を担当していた山崎楽堂(本名・静太郎)でした。山崎は1885(明治18)年、和歌山県和歌山市に生まれ、京都の第三高等学校を経て、東京帝国大学建築学科に進みました。元紀州藩士の父の影響で、幼時から能や狂言に親しみ、大学卒業後は梅若家能舞台や細川家能舞台などの設計に携わります。

ぶなど、才気縦横の人物でした。山崎が本学の予科教授に着任したのは1921年。当時の予科長は、能楽を通じて親交のあった野上豊一郎でした。山崎が着任して間もなく、予科の制服制帽が黒サージの詰襟学生服・丸帽に決まります。帽子に付けるバッジは、中央の白いHOSEIの「H」を金の王冠が囲むデザイン。当時、金モールのバッジはまだ珍しく、その「ハイカラ」さが予科生たちの自慢だったようです。

野上擁護の連判状を作成し結束を固めました。大学の会議室が使えないため、浅草の梅若家能舞台に結集したこともあったようです。この騒動は、山崎はじめ予科教員の半数に及ぶ47人の辞表提出が「赤穂浪士」に例えられるなど、新聞や雑誌で連日報道されました。取材に対して山崎はその行動を「正義の戦い」と述べ、自ら活動資金を負担して大学当局や反野上派と対峙し、敢然と難局に当たります。この騒動で辞職した教員の大半が後に復職する中、山崎は法政の教壇に戻ることもなく、1944年に死去。1936年に川崎校地へ移転した予科は、戦後の教育改革を受けて廃止されましたが、山崎がデザインし、予科生に愛されたバッジは、本学付属校の校章として今に受け継がれています。



- 1 小鼓胴を手にする山崎楽堂(山崎有一郎/聞き手・三浦裕子「昭和能楽黄金期」 檜書店)
- 2 山崎のデザインを使ったバッジやメダル。右端が予科と同型のバッジ
- 3 法政騒動に際して、予科教授会代表の山崎の名で提出された声明(1934年1月9日)



野上記念法政大学能楽研究所 特別展示
場所: 市ヶ谷キャンパス九段北校舎1階
期間: 2023年1月31日まで
詳細はHOSEIミュージアムウェブサイトに掲載



校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化を目的に、校友会憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。

「法政オレンジMAP」を展開中

校友会では2020年度より、卒業生が経営または関係しているお店を応援する目的で、「法政オレンジMAP」を作成・公開しています。現在、飲食店、ホテル・旅館、物販販売など、国内外の店舗とオンラインショップを約300店舗掲載しており、今後も拡大していく予定です。掲載店舗は、法政大学校友会ウェブサイトまたは校友会アプリから検索・閲覧できます。校友会アプリでは、GPS機能を利用して、現在地周辺のお店を検索

することもできます。全国で活躍している法政卒業生を応援できることはもちろん、新たなつながりが生まれるかもしれません。校友会ご入会後は、校友会会員証を提示すると、特典などを受けられるお店もありますので、ぜひご利用ください。また、関連企画としてイラストや動画で法政オレンジMAPを楽しんでいただけるコンテンツも提供しています。こちらもぜひご覧ください。



全国展開している有名店や、普段利用しているお店が、実は卒業生のお店ということも。ご自宅の周辺や旅行先などで検索して、ぜひお店に足を運んでみてください。

●動画で楽しむ法政オレンジMAP



動画だからこそ分かる、お店の雰囲気をお楽しみください。



2022年度司法試験合格者表彰

10月11日、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)で、司法試験合格祝賀式典を開催しました。校友会の三井和夫副会長が、2022年度司法試験合格者16人(法政大学法科大学院の修了生、法学部などの卒業生)に表彰状と祝い金を授与しました。校友会による司法試験合格者の表彰は、難関国家試験の合格を祝し、本学卒業生の活躍を奨励することを目的に2016年度から実施しています。



校友会
公式アプリの
ダウンロード



一般社団法人 法政大学校友会事務局 Tel 03-3264-1831 Eメール info@hoseinet.or.jp ウェブサイト https://hoseinet.or.jp/

現代福祉学部の学生が「フェーズフリーアワード2022」で PHASE FREE AWARD Gold賞を受賞

一般社団法人フェーズフリー協会が主催する「フェーズフリーアワード2022」で、現代福祉学部の水野雅男研究室の学生がアイデア部門の「PHASE FREE AWARD Gold賞」を受賞しました。フェーズフリーとは、平常時も災害時も、どんな状況でも役に立つことをコンセプトにした商品・サービスを提案するアワードです。

受賞したアイデアは「CAMP in Campus for well-being」。大学キャンパスを開放してキャンプ生活を楽しめるようにし、大規模災害時には人間らしい避難生活を送るための拠点を転換しようという提案で、汎用性と有効性が認められました。



第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会で小川・宮ペアが優勝

8月13日(土)・14日(日)、愛知県名古屋市で「令和4年度文部科学大臣杯争奪 第10回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が開催されました。

無観客の会場で選手たちが熱戦を繰り広げる中、小川翔悟選手(経済学部4年)と宮澤里選手(人間環境学部4年)のペアが勝ち上がり、決勝戦では2-1のスコアで対戦相手を抑え、優勝を飾りました。



宮選手(左)と小川選手(右)
(写真提供:バドミントン部)

プロ野球ドラフト会議で二人の選手が育成指名



村上選手(左)と
是澤選手(右)

10月20日(木)に開催された2022年プロ野球ドラフト会議で、体育会野球部の是澤涼輔選手(現代福祉学部4年)が埼玉西武ライオンズから育成4位指名、村上喬一郎選手(法学部4年)がオリックス・バファローズから育成5位指名を受けました。

球団は異なりますが、二人のポジションは同じく捕手で、これからも互いを意識し、高めあっていきたいと意欲を見せていました。

「一緒に優しい社会を作ませんか? ~ダウン症から考える共生社会~」を開催

市ヶ谷ボランティアセンター学生スタッフ(VSP)は、ダウン症への理解を深めるための企画を継続的に開催しています。第3回目となる10月6日(木)は「一緒に優しい社会を作ませんか? ~ダウン症から考える共生社会~」と題した、オンライン企画が実施されました。

当日はダウン症がある子どもを持つ親たちが集まって立ち上げたNPO法人アクセプションズの皆様にご協力いただき、学生とダウン症のある子どもたちが一緒にオンライン上で好きなもの紹介や連想ゲームをして交流しました。



デザイン工学部の学生が静岡県沼津市でワークショップを実施

デザイン工学部は、2020年3月に静岡県沼津市と「景観・まちづくり等に関する協定」を締結。地域社会の発展と人材育成のための交流を図っています。

9月19日(月)、デザイン工学部都市環境デザイン工学科景観研究室(福井恒明教授)の学生が、静岡県沼津市内の内膳堀と呼ばれる香貫水周辺の現地調査を行い、整備改善の提案と地域住民との意見交換を行うワークショップを実施しました。沼津市からは住民と市職員約40人が参加し、毎日新聞や静岡新聞などのメディアにも取り上げられるほど、注目を集めました。



理工学研究科在学生在が日本原生生物学会でベストプレゼンテーション賞を受賞



受賞した
汐見さん(左)と
久保田さん(右)

9月1日(木)~3日(土)に小金井キャンパスで開催された「第55回日本原生生物学会大会」で、理工学研究科在学生の汐見駿佑さん(生命機能学専攻修士課程2年)と久保田和音さん(生命機能学専攻修士課程1年)が、ともにベストプレゼンテーション賞を受賞しました。受賞論文は以下の通りです。

- ・汐見駿佑さん:「封入されたクラミドモナスは巨大リポソームを变形駆動する」
- ・久保田和音さん:「中心子構造の9回対称性に異常をもつ新規クラミドモナス突然変異株の表現型」



TBSテレビ金曜ドラマ『クロサギ』の撮影場所として市ヶ谷キャンパスが使用されました



当日の様子

10月21日(金)22時からスタートした、TBSテレビ金曜ドラマ『クロサギ』の撮影場所として市ヶ谷キャンパスが使用されました。撮影はキャンパス中央広場、富士見ゲート、大内山校舎、ボアノード・タワーなど、さまざまな場所で行われました。撮影には出演者のほか、エキストラの方、スタッフの方がいらっしゃいました。55・58年館建替工事の竣工後(2021年1月末)、市ヶ谷キャンパス内で行われた初めての規模的な外部の撮影となりました。当日の様子は大学ウェブサイトに掲載しています。

経済学部の学生が企画したいちじくクッキー「FIG COOKIE」が商品化



経済学部杉浦末樹教授ゼミに所属する3人の学生(全員経済学科4年)が、大学ゼミ対抗商品企画コンペ Student Innovation College (Sカレ)2021のプラン・テーマ部門で1位となり、商品化権を獲得。株式会社渥美フーズ(愛知県田原市)との連携で完熟いちじくクッキー「FIG COOKIE」を完成させ、9月15日(木)から販売を開始しました。

このクッキーは規格外品のいちじくを活用し、社会福祉法人童里夢の「OYATU工房」と協力いただき、一枚一枚手作りで完成させています。愛知県内のスーパーマーケットや産直マルシェなどで通年販売され、近く「道の駅とよはし」でも販売が開始される予定です。

2022年度の公開情報をウェブサイトに掲載しています

本学は、「学校法人法政大学情報公開規程」に基づき、「積極的に公開する情報(公開情報)」を大学ウェブサイトで公開しています。なお、公開情報は毎年度9月までの間に順次更新を行っています。



情報公開

継続手続きに関するお知らせ(日本学生支援機構奨学生)

現在、日本学生支援機構奨学金を貸与および給付されている方は、2023年度に向けた奨学金継続手続きが必要です(2023年3月までに貸与・給付が終了する方は除く)。手続き方法の詳細は12月中旬ごろ、Hoppiiのウェブ掲示板「その他のお知らせ」および大学ウェブサイトにてご案内する予定です。

三輪田学園高等学校との高大連携に関する協定事業を拡充

本学は2015年度から三輪田学園高等学校と高大連携協定を締結し、さまざまな連携事業を実施してきました。2023年度からさらなる事業の拡充を図るため、入試制度や連携講座の開設などを含む、新たな協定を締結しました。

具体的には、協定校推薦(学校推薦型選抜)入試制度や大学の授業科目を高校生が履修できる特別聴講制度の導入、大学教員によるオムニバス講座の開設などを予定しています。

〈2022年度相原地区協議会大学連携事業〉相原地域交流会「竹カフェ」を実施

9月24日(土)、2022年度相原地区協議会大学連携事業の一環として、多摩ボランティアセンター主催の相原地域交流会「竹カフェ」を実施しました。

今回は、年齢や性別、障がいの有無を問わず、交流を深めるのに最適なスポーツ体験会を企画。パラリンピックの公式種目にもなった「ボッチャ」を楽しみました。

あいにくの雨模様にもかかわらず、当日は地域の方々26人と学生スタッフ16人が参加。体験会ということでルールを簡略化し、対戦形式での試合を行いました。初めて体験する人も試合が進むにつれて夢中になり、参加者が楽しそうに交流する様子が会場内のあちこちで見られました。



本学専任教職員の最近の著書、編纂書、訳書をご紹介します。

BOOKS



ジェネラリスト・ソーシャルワークを実践するために
スクールソーシャルワーカーの事例から
ジェネラリスト・ソーシャルワークとは、不登校、ひきこもり、虐待、介護、貧困など、多様化・複合化している課題に対応する統合的なソーシャルワークの体系のこと。きびしい現場で課題に取り組む学校や社会福祉関係者のために、支援の展開に即しながら、22のポイントを実践的に解説している。

高良 麻子 他1名 編著
現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授
出版社：かもがわ出版
発行：2022年7月



小説作法XYZ
—作家になるための秘伝—
「コトバを生業とする者たちが積み上げてきた文学的叡智がどれだけ人類に貢献してきたか」——。40年間の作家生活を経て、改めて「知性」の意味を捉え直し、新たな小説作法が誕生した。46箇条の「超絶技巧エチュード」を掲載。プロフェッショナルの作家になるための道筋を明かした文芸創作の「五輪書」*。

島田 雅彦 著
国際文化学部国際文化学科 教授
出版社：新潮社
発行：2022年5月
※『五輪書』：宮本武蔵の著した兵法書



キャリア・カウンセリングエッセentials 400
キャリアコンサルティングに必要な分野を網羅した、日本初のキャリア・カウンセリングの総合辞典。キャリアやカウンセリングはもちろん、メンタルヘルス、人事・組織、法制度・資格まで、キャリア・カウンセリングにまつわる403項目を168人の専門家が書き下ろした。

廣川 進 他5名 編著
キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科 教授
日本キャリア・カウンセリング学会 監修
出版社：金剛出版
発行：2022年3月



代数学のレッスン
計算体験を重視する入門
代数学でつまづいた学生を想定して、理解の道筋を記した入門書。定義からは始めない。多くの計算実験を通じて共通する数学的現象を見出し、概念を定式化する。また、証明のデザインパターンを読者に意識付けている。

雪田 修一 著
情報科学部デジタルメディア学科 教授
出版社：日本評論社
発行：2022年4月

※日外アソシエーツ 図書内容情報BookPlusを参照

法政大学生生活協同組合書籍部より 資格取得のための参考書も取り揃えています

学生の皆さんの中には、資格取得を考えている方もいるでしょう。資格は希望する職業に就くために必要であったり、身に付けておくことで役に立つこともあります。生協では、資格取得のための参考書や問題集も取り揃えています。これらの参考書、問題集も生協の組合員証を提示すると10%引きで購入いただけます。

これから資格の勉強を始めようと思っているのなら、ぜひ生協の資格関連書の棚を見てください。ご自身にあった参考書が見つかるかもしれません。まだ資格取得を考えていない方も、資格関連書の棚から意外な資格を発見できるかもしれません。

お時間の空いたときに、ふらっと生協の書籍棚を眺めてみていただければと思います。(生協購買書籍部)



HOSEI 11・12月号

令和4年11月20日発行
第49巻第8号(通巻735号)

発行 法政大学 総長室 広報課
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
TEL.03-3264-9240

協力 法政大学後援会

企画・制作協力 (株)日経BPコンサルティング

印刷所 図書印刷(株)



■ Award

2021年度

自由を生き抜く実践知大賞6

2021年度「自由を生き抜く実践知大賞」には大学憲章を体現するような実践の取り組みとして11件がノミネート。厳正な審査にて、大賞と大学憲章に連なる本学の理念などのキーワードを冠した4賞、オンライン投票による「よき師よき友が選ぶ実践知賞」の計6賞が選ばれました。ここでは、それぞれの受賞の取り組みを順に紹介します。

よき師よき友が選ぶ実践知賞

オープンキャンパスの枠を超えた支援活動

(実施団体：多摩オープンキャンパスリーダーズ)



活動概要

多摩オープンキャンパスの学生スタッフである多摩オープンキャンパスリーダーズ(以下、リーダーズ)は毎年8月開催のオープンキャンパスの実施・運営を目的として活動しています。

2020年から続くコロナ禍で、受験生だけでなく在学生や教職員も自由に大学に来られない状況が続きました。この状況を鑑み、リーダーズでは過去の経験を生かして8月のオープンキャンパス以外に、学生が主体となって、受験生、在学生、職員に対するさまざまな支援活動に取り組みました。学生からの要望に応じて、多摩事務課職員は関係各所との折衝・調整を行いました。

どの企画も共通して多くの方に参加していただき、高評価を得ることができたのは、この状況下でも必要な支援を必要人に届けることができたからだと自負しています。

廣瀬克哉総長からの選定理由コメント

コロナ禍での活動を、元々の役割であったオープンキャンパスに留めず、支援対象を広げた発想力が素晴らしい。新入職員に対して在学生がキャンパスツアーを行っている大学は、法政が唯一ではないでしょうか。

受賞者からの感想

日々の活動を行う中で、高校生のみならず、在学生や職員の方々に向けても取り組みを行った結果を評価いただきありがとうございます。今回の受賞は、オープンキャンパスリーダーズが存在を知ってもらえる良い機会になりました。これまでの活動から得た知識や経験があったからこそ、コロナ禍という社会の変化にも柔軟に対応できたと思っています。この賞に甘んじることなく、あらゆる人から頼られる団体であり続けられるよう努力していきます。

これからも夏のオープンキャンパスはもちろん、SNS やさまざまなコンテンツを用いて多摩キャンパスの魅力を発信していきますので、ご期待ください。(多摩オープンキャンパスリーダーズ一同)



2022年度「自由を生き抜く実践知大賞」まもなく決定!

2021年度に続き、2022年度もさまざまな活動がエントリーされました。今年度は「コロナ禍で進歩した私たちの実践知」を体現する多様な実践事例の掘り起こしを意識して実施します。

2022年12月上旬 ノミネート団体の発表

2022年12月17日(土) 表彰式開催

今年度も表彰式のライブ配信を行います。当日はノミネート団体による取組紹介のプレゼンテーション(5分間)の後に、各賞の発表、表彰を行います。視聴・参加されている皆さまからのオンライン投票による「よき師よき友が選ぶ実践知賞」の表彰も予定しています。

法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」を体現する取り組みにどうぞご期待ください!

「HOSEI PHRONESIS」サイトでライブ配信 URL (YouTube) をご案内しています。表彰式当日は右記QRコードからご視聴ください。※表彰式当日まで視聴できませんのでご了承ください

表彰式をライブ配信します!
ご視聴の上、
オンライン投票に
ご参加ください



実践知大賞ライブ配信

「自由を生き抜く実践知大賞」の各賞の詳細や表彰式の動画は、HOSEI PHRONESIS (<http://phronesis.hosei.ac.jp/>) をご覧ください。





2022年度卒業記念品 卒業アルバム

お申込み受付中

お申し込みなどの詳しい情報は下部ホームページをご確認ください。



法政大学の卒業アルバムは、「お名前」が印字された世界に一冊だけの卒業記念品です。

法政大学卒業アルバム

- 規格 : A4版 カラー 約300ページを予定
- 代金 : 20,000円 (税込・送料込)
- 受渡 : 宅配便でご自宅への配送となります。
※宅配便は2023年8月頃発送予定です。
- 企画・監修 : 法政大学卒業アルバム事業委員会
- 協力 : 一般社団法人法政大学校友会、学校法人法政大学、
法政大学後援会、法政大学生生活協同組合
- 編集・出版 : 株式会社エイチ・ユー

アルバムコンテンツ (予定)

- 法政百年史 / 総長メッセージ / 学部長メッセージ / キャンパス写真 / 個人写真 / ゼミ集合写真 / 部活・サークル集合写真 / 思い出スナップ / スポーツ法政 / イベント写真 (入学式・卒業式等) / 先生からのメッセージ / ニュース写真等

※写真はイメージです。



検索

法政大学 卒アル



法政大学卒業アルバム事業室

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-2-3 帝都青山ビル1F
TEL : 0120-037-645 HP : <https://www.hoseinet.jp>